



地域おこし協力隊活動レポート



地域おこし協力隊とは、大都市圏に住んでいた方が、地方に移住し、地域の活性化を図るとともにその地での自立定住を目指す取り組みです。協力隊員の紹介、活動内容等をご紹介します。

vol.21 (担当) 清水^{しみず} 勇多^{ゆうた}さん

地域おこし協力隊の清水です！

なんと長瀬に来て2年が経ちました。今は長瀬での起業に向けた準備を進めています。

10/11・12の2日間、ULTRA A47というSUPレースイベントが開催されました。

大会は今年が2回目の開催、私のWITH RIVERが軸となって11日に長瀬エリアのリバークリーンを実施しました。

地元の事業者やレース参加選手の約20名が参加。

去年は200キロ集まったゴミが今年は約50キロ、確実に川のゴミが減っているのを実感しました。

リバークリーンの様子は11月初旬テレビ埼玉でも放送される予定です。

これからも川と町が綺麗になる活動を続けていきます！



ペアフェスタ PairFesta! ~ここから始めるソトアソビ~

“ペア”=親子、兄妹、カップル、夫婦、飼い主と犬。それは最小のグループ。1対1だからこそ向き合える、絆が深まる。そんなペアで楽しめるソトあそびイベントが、11/12(土)の10時から17時の間、長瀬オートキャンプ場で開催されます。

イベントではアウトドアアクティビティと飲食店やアウトドア系の物販が行われるほか、一般の方も楽しめる充実した内容で、私が活動しているWITH RIVER BOOKの展示もされます。

長瀬にお住まいの方はイベント入場料が無料ですので、ぜひご参加ください！

今月のいいとこ長瀬

「長瀬町の 勇敢さ がスキ！」

明治時代に起きた秩父事件には、長瀬町からたくさんの勇士が参加したそうです。

(M・Yさん)

【編集者コメント】

明治時代、権利と自由を守るため民衆による政治活動が行われました(自由民権運動)。その中でも秩父事件は、秩父の農民たちが組織した「秩父困民党」が明治17年11月1日に武装蜂起し、9日まで薩長藩閥の政府軍と戦った事件で、「自由民権運動の最後にして最高の形態」といわれています。

この事件には長瀬町からたくさんの勇士が参加しており、風布出身の大野福次郎と大野苗吉は特に有名です。福次郎は風布組とよばれた組織を作り、武装蜂起の前日、先発隊として吉田の棕神社に向かいましたが、皆野のオンドシ河原で警察隊に捕らわれてしまいました。苗吉は、夜、風布組本隊を率いて副総理・加藤織平宅に行き、翌日、棕神社での武装蜂起の際、甲大隊副隊長に任命されました。金屋の戦いで戦死したと伝えられています。また、本野上出身の島田清三郎、島田幸右衛門は秩父困民党の幹部です。伝令使の清三郎は総理・田代栄助と行動を共にしました。幸右衛門は野上組の旗を立てて進軍しました。

138年前の11月に起きた秩父事件に想いを寄せ、自由民権運動はどのような運動であったのか考えてみるのも有意義なことと思われます。

権利と自由を守るために戦った勇士が多くいたことは、
長瀬町のいいとこ！



大野苗吉生家の近くにある秩父事件の案内板



秩父事件顕彰碑 (明治の世直しと革命)